2026年日本平和大会実行委員会ニュースno.10

発行：2026年日本平和大会実行委員会（事務局＝日本平和委員会内） 2026/10/20
Tel 03(3451)6377 Fax 03(3451)6277 Email:info@j-peace.org

大会まで６週間　学びとたたかいを広げ、第２の米軍基地県・神奈川の平和大会へ

成功へのよびかけを発信　第９回実行委開催



10月16日日午後、オンラインで第９回実行委員会を開催。13団体と神奈川県実行委からの18人が参加しました。

はじめに、大会に向けた全国各地のとりくみが報告されました。

■学習パンフの普及と活用（学習動画再生 1,000 回超え）

情勢と大会の意義を学ぶパンフの普及と学習の取り組みは、埼玉が昨年の 2,100 部を上回る普及で予定を含め 12 カ所学習会など、積極的に取り組まれています。パンフ学習のプレ企画２の録画再生は 1,000 回を超えました。北九州市では１人で数百部普及している人もいます。パンフはあと 5,000 部（１都道府県あたり 100 部余）。学習会を開催しながら普及を広げていきましょう。



■茨城平和大会に160人

来年度中に空対艦長射程ミサイルの配備が狙われている空自・百里基地を抱える茨城県では、10 日午後に水戸市内ではじめての茨城平和大会が開催されました。３月に４団体がよびかけ、毎月実行委を開催して準備。その間、空中給油機を 2030 年度に配備するという新しい問題も生まれ、憲法違反の敵地攻撃拠点にさせないと、110 人の会場に 160 人が集まりました。来年は百里基地のある小美玉市での開催を計画しています。日本平和大会には、長射程ミサイル実物大の横幕を持って参加しようとの声も上がっています。

今後は、昨年の開催地・愛知では今月 28 日の安保破棄県実行委総会の際に活動交流、兵庫では来月 20 日に３回目の全県基地交流会、奈良ではDSAとの交流を含めた大会が計画されています。

■「よびかけ」を発信　こうしたなか、各地からの参加組織もすすめられています。沖縄・宮古島、鹿児島・種子島など、たたかいの現地からも参加されます。実行委員会では、アメリカ言いなりの戦争国家づくりを許さない声を規模の上でも示す大会として成功させようと、別紙のように「成功へのよびかけ」を発信しました。各団体、都道府県実行委で活用し、参加を広げましょう。

● 実行委が準備しているホテルの締め切りは 10/23 です。

中央団体で、事務局と同じホテル希望するとことは、中央団体申し込み用紙に、その欄を補強したものを作りましたので、それを活用して申し込みください。

● オプショナル・動く分科会の締め切りは 11/13 です。

● 中央団体のみなさん、要員についてご確認ください。

★★ 次回（第 10 回）実行委員会　11 月５日(金)16 時～18 時（オンラインにて）